

令和4年度第2回浦安市介護保険運営協議会議事録

1. 開催日時 令和4年8月29日（月） 午後1時15分～午後3時

2. 開催場所 浦安市役所4階 災害対策本部室

3. 出席者

（委員）櫻井委員（会長）、山田委員（副会長）、佐藤委員、岡崎委員、高橋（哲）委員、笠井委員、相原委員、吉田委員、石川委員、助川委員、渡邊委員、高橋（宗）委員、グスタフ委員

（事務局）高梨福祉部長、並木福祉部次長、春田高齢者福祉課長、斉藤高齢者包括支援課長、八田中央地域包括支援センター所長、森健康増進課長、森林中央地域包括支援センター副主幹、松本浦安駅前地域包括支援センター所長、富永新浦安駅前地域包括支援センター所長、浅地高洲地域包括支援センター所長、青野富岡地域包括支援センター所長、江副係長、山田係長、荒木係長、岡崎係長、入江主査、園田主任保健師

4. 進行

1. 会長あいさつ

2. 議題

（1）介護保険運営協議会について

（2）浦安市の高齢者の現状について

（3）地域包括支援センターの事業評価について

（4）第1号介護予防支援事業及び指定介護予防支援事業委託について

（5）その他

3. 閉会

5. 会議経過

議題（1）介護保険運営協議会について

議題（2）浦安市の高齢者の現状について

事務局より資料に沿って説明し、質疑等、特になし。

議題（3）地域包括支援センターの事業評価について

事務局より資料に沿って説明

委員：レーダーチャートだけだと把握できる内容に限界があると思います。レーダーチャートの2-(5)では全体的に、介護予防ケアマネジメントと介護予防支援の数値が低くなっています。これらはシステム化は難しいとのことですが、具体的に検討していることはありますか？

事務局：数値が低いことと、システム化されていない部分については、直接の関係はありませんが、介護の計画管理であるマネジメントという観点では、介護保険、総合事業、介護予防の事業利用をするにあたり、通常のケアプラン作成だけでなく、利用する方自身がマネジメントするセルフケアマネジメントの推進が求められています。セルフケアマネジメントについては、浦安市だけでなく全国的に利用が少ない傾向にあります。昨年、浦安市は従来の専門的な介護サービスだけでなく、住民主体のサービスを創設しました。地域包括支援センターのケアマネジャーが、最初の1回だけマネジメントを行い、その後は本人がセルフケアマネジメントを行います。また短期集中予防サービスは、リハビリ職が短期間に集中的に支援し、その後はセルフケアマネジメントしていくことが期待されているサービスです。こうした試みを広げるため、介護予防手帳を活用する自治体がありますので、そうした手法の有効性について検討したいと考えています。

委員：レーダーチャートでの実態把握に加え、原因や今後の対応の説明があれば良いと思いました。資料8の介護事業所アンケート調査では、調査のテーマやその他の項目等について知りたいですし、事業評価については、目標とそれに対する評価という形での説明が分かりやすいと思います。

委員：評価表は国の様式に沿って自分たちで採点していくものです。地域包括支援センターには地域づくりの役割があり、資料7の評価指標1の「組織運営体制等」について、主任ケアマネジャーを配置しないと低評価ですが、介護人材不足で確保が難しい状況です。そして配置していないと市民の相談に乗れず、さらに評価が低くなるという仕組みになっています。また、浦安市全体のチャートで評価指標3「事業者間連携」の評価が低い、医療関係者と地域包括支援センターとの合同勉強会が実施できていないという説明がありましたが、事業者間連携は国様式で例示されているので、評価が低い結果となっています。国様式の評価だけでは把握できない部分もあるので、アンケート調査やヒアリング等により補完する形になっています。資料8のアンケート結果を見ると、高州地域包括支援センターの「分からない」という項目が多いことは気になりますが、概ね「大変良い」という評価が多いです。地域包括支援センターとケアマネジャーの関係性は良好で、その

支援ができていることが推測できます。浦安市の地域包括支援センターは非常によく事業に取り組んでいると思います。今後は、国の評価表や指標を併記すれば分かりやすいと思います。

委員：資料7の2-(5)介護予防ケアマネジメント・介護予防支援は中央地域包括支援センターから浦安駅前地域包括支援センターまで5か所、全国平均より指標が内側にあるのに、市町村と全国平均との比較では同じ位置にあります。令和3年度調査ですが、この結果をふまえた考察を今後、示していただけるのでしょうか？資料8のアンケートについて、アンケートを取る背景が何かあるのか、職員とは誰を指すのか、このアンケート結果をふまえてケアマネジャーとどのように関わっていくのか説明をお願いします。

事務局：資料7のレーダーチャートの相違については、国の指標、市町村指標、センター指標では異なる部分があるため、各地域包括支援センターのレーダーチャートでは全国よりも低い場合でも、市の指標で比較した場合は、全国の平均と同等の結果が出ています。令和4年度はすでに数か月経過していますが、浦安駅前地域包括支援センターの指標が低かったため、中央地域包括支援センターの基幹型業務として、浦安駅前地域包括支援センターの後方支援を重点的に行っています。具体的には中央地域包括支援センターの職員がケース対応等に問題がないかの確認を行い、それを通じて地域のネットワークづくりについても助言しています。資料8のアンケートは、地域包括ケアシステムを支える職種であるケアマネジャーの意識等について知るために行いました。他自治体での同種のアンケート内容も参考にしています。アンケートの質問1の内容については、相対的に従事年数・経験が長いケアマネジャーに、各包括職員がどのように映っているか把握するための設問です。アンケート内の「職員」は市職員ではなく各地域包括支援センター職員のことです。今後の中央地域包括支援センターの具体的な後方支援内容や、ケアマネジャーとのかかわり方については、年次実績報告の際に説明します。高州地域包括支援センターの回答結果で「わからない」という回答が多い点について、新町という高齢化率の低いエリアを担当し、担当ケースも少なく、アクセスしづらい立地ということも影響しているということも捕捉させていただきます。

議題（4）第1号介護予防支援事業及び指定介護予防支援事業委託について

事務局より資料に沿って説明し、質疑等、特になし。

6. 問い合わせ先

福祉部 介護保険課 保険料係 担当 山田・田中
電話 047-712-6403 内線 15505・15506